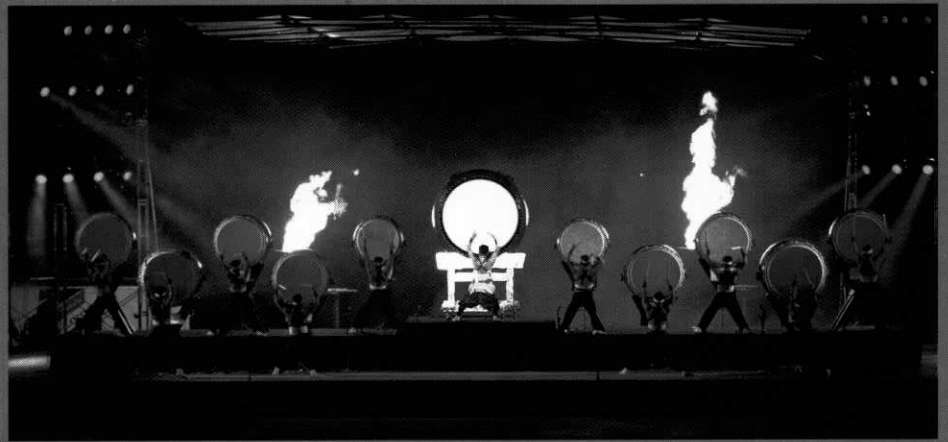


確かなあゆみ、そして…

鷹巣町町村合併  
40周年特集号



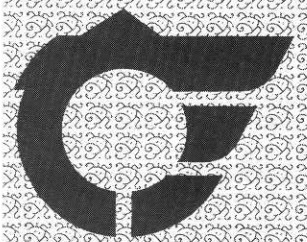
合併40周年記念事業「大響祭'95」



広報

たかのす

'95 11/1



# 鷹巣町 四座村 七座村 二村 合併 40周年を祝う



町内外より約600人が出席して記念式典が行われる（会場ファルコン）

昭和三十年四月一日、鷹巣町、坊沢村、栄村、沢口村、七座村の五カ町村の合併、翌三十一年九月三十日、綴子村、七日市村の二村が編入合併し、現在の「鷹巣町」が誕生しました。

今年度は、こうした鷹巣町の町村合併から四十周年の年として、これまで各種の記念事業が開催されてきましたが、十月十五日、たかのす風土館（ファルコン）を会場に来賓や町民の代表など約六百名が出席して、記念式典が行われました。

式典では、岩川徹町長が「この四十年間、大きく揺れ動く社会経済情勢の中で、町民の皆さんのたゆまぬ努力と協力により、町発展の礎を築いてきた。町は今、平成十年の「大館能代空港」開港を目前に大きく飛躍しようとしているが、二十一世紀を展望した『空港・福祉Ⅱ新時代』に向け、全力を挙げて取り組んでまいりたい。そして、町村合併四十周年を迎えた意義を十分かみしめ、町民の皆さんとともに町の限らない発展を目指したい」と決意を新たに式辞を述べました。

また、町村合併の年に生まれ、今年満四十歳になる松岡政行さん（摩当）、菅原良子さん（小森）の二人が町民を代表して「空港と福祉の町として躍進する鷹巣町の町民として誇りを持ち、将来のまちづくりに向け努力していきたい」と決意を誓いました。

式典終了後、広域交流センターに会場を移して祝賀会も行われ、出席者は合併四十年の節目を祝い、町勢の発展を誓い合っていました。

## 〔町村合併四十年の軌跡〕

昭和30年・鷹巣町、坊沢村、栄村、沢口村、七座村の五ヶ町村が合併して「新鷹巣町」が誕生  
・町長に成田喜八氏が当選

昭和31年・綴子村、七日市村が鷹巣町に編入合併（人口二万八千一人）

昭和36年・第十六回国民体育大会バレーボール競技が鷹巣を会場に開催  
・鷹中野球場工事中に平安朝の埋没家屋「胡桃館遺跡」を発見

昭和40年・町内六支所が廃止  
昭和41年・町の誘致企業の第一号「楽屋被服」が綴子小旧校舎で操業

昭和42年・町長に出川禮一氏が当選

昭和43年・成田喜八氏が名誉町民に

・ゴミ収集を町直営で開始

昭和45年・役場庁舎新築落成  
昭和46年・中岱に北秋田総合庁舎、鷹巣保健所の新庁舎が完成

・鷹巣阿仁広域市町村圏組合が発足

昭和50年・集中豪雨で明利又などで大被害

祝 鷹巣町町村合併40周年記念式典



鷹巣混声合唱団と出席者全員が町民歌を斉唱して開式

今年成人を迎えた多賀谷由一さん（材木町）、吉田恵さん（新田中）が町民憲章を朗読



記念式典、祝賀会の司会を務めたニッポン放送アナウンサーの桜庭亮平さん（蟹沢出身）



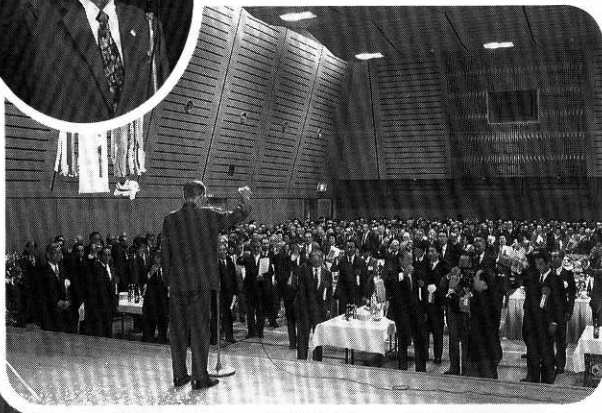
祝賀会で乾杯の音頭をとる堀部哲秀さん（七日市地区自治会長兼会長）

祝 町村合併40周年

記念式典&祝賀会



▲町民を代表して「誓い」を述べる松岡政行さんと菅原良子さん



▲祝賀会のアトラクションで熱演する「鷹巣ばやし」と「鷹巣祇園太鼓」のみなさん

鷹巣町町村合併40周年記念祝賀会



- 昭和55年・藤株遺跡で発掘調査
- 昭和59年・鷹角線を第三セクタ1の秋田内陸縦貫鉄道(株)で運営
- 昭和60年・町村合併三十周年、町制施行八十五周年
- 平成元年・県北空港予定候補地として「大野台中屋敷地域」にと県知事が発表
- 綴子大太鼓がギネス認定世界一に
- 町の花と鳥に「ひまわり」と「鷹」が決定
- 大太鼓の館が竣工
- 平成2年・県北空港の正式名称が大館能代空港に決定
- 三浦智子さん(伊勢町)が日本で初の女性運転士に
- 平成3年・町長に岩川徹氏が当選
- 台風十九号が鷹巣町を直撃、約八十億円の被害
- 平成4年・新斎場が竣工
- 町内三農協が合併し、新生「鷹巣町農協」が誕生
- 平成5年・全国自治体初の夜間ヘルパー派遣で二十四時間ケア体制スタート
- 平成6年・大館能代空港修祓式と起工式が行われる

合併当時の思い出

「100人が綴る」「合併当時の思い出」と

「未来たかのすへのメッセージ」

①

“住民参加のまちづくり”を支えるのは、鷹巣町を心から愛する町民の皆さまです。町村合併四十周年にあたって、小学生からお年寄りまで、「生き生き町民100人」が合併当時にふりかえり、未来たかのすへ熱いメッセージを贈ってくれましたので紹介します。（今号では「合併当時の思い出」を、次号では「未来たかのすへのメッセージ」を掲載します）



摩当  
小坂信夫さん  
(六十六歳)

旧栄村は、県下二市九郡の中で千畑村の次に下から二番目の一寒村でした。合併当時は振り返ると、町に国警と自治警と二署あったものが、合併と同時に一署となり、常備消防団が常備消防署として発足しました。また、合併前各町村は腕用ポンプや動力ポンプでしたが、合併記念にと最新鋭の自動車ポンプを購入し、各村で放水披露した際には、その威力に感激し、後を追いかけた記憶があります。今の広域消防署の威容を見るとき、夢のような思いがします。今後も県北の中核都市としてさらなる発展を祈念いたします。



蟹沢  
櫻庭角藏さん  
(八十一歳)

当時は、坊沢大橋もなく、渡し船がその役目を果たしていたし、鷹巣へは小ヶ田・川口を通り、時には現在の内陸線の鉄橋を渡って行ったものである。雨が降ると米代川の水かさが増し、度々船が運行されず正に「陸の孤島」でした。また、年間五、六回は、大雨により農道・橋等が流され、その度に各家々から一人ずつその補修の手伝いに出たものです。今は、道路が整備され、どこへ行くにも大変便利になりました。これからも、生活環境の整備に一層努められ、今後の課題である福祉施設の整備が早く推進されるよう期待しております。



南鷹巣  
笹原一さん  
(八十三歳)

昭和三十年三月三十一日、七座、坊沢、栄、沢口の各村は廃村式、鷹巣町は廃町式を挙行。翌四月一日、成田喜八氏を管理者に推して議員及び職員は従前の身分を保持し、町名を「鷹巣町」とした。また、三十一年十月一日に綴子、七日市が編入合併して現在の鷹巣町となった。そして旧村ごとに支所を置き財産区の設置を認め、住民には一日も不便をかけないように配慮した。時代はどう変わろうと住民本位の行政が基本であると思います。合併四十年を節目に「鷹巣町」のさらなる発展を期待します。



東横町  
佐藤茂松さん  
(七十五歳)

合併以前より現在の場所で商売をしておりましたが、その当時は、現在の役場、営林署、NTT、北秋中央病院などの所は、高等女学校、鷹巣小学校そして野球場でした。四十年前を思えば、現在の自分の回りを見ただけでも大変な変わりようにただ驚くばかりです。そして当時とは比べものにならない程便利になり、鷹巣町も発展したものだと感じます。四十年前を振り返り、改めて「発展」の意味を考えてみたいと思います。そして未来たかのすの新たな飛躍と発展の仕方を期待して見守りたいと思います。

合併当時の思い出

昭和  
佐藤

正さん  
(七十四歳)



町村合併によって得られたことは数多くあると思いがすが、納税貯蓄組合設立について思い出してみたい。私共の集落は終戦後に出来た新しい集落で非常に厳しい時代であった。役場の指導によって設立されたが、集落全戸の加入がなされなかった事は今でも心残りである。それでも当時は奨励金の交付によって組合の運営もスムーズに行われた。したがって、期限内完納をすすめるためのよい政策であったと思う。また、町全体の連合会も設立され、他地区の人たちとの交流もあり、私も副会長としていくらかでも協力できたことを、皆さんに感謝したいと思っています。

今泉  
篠内

勲さん  
(六十九歳)



合併の思い出としては、私たち七座村の分村問題が思い出されます。このことで七座小学校、天神小学校に於て村民大会が開かれ、私も分村反対の立場で意見を申し上げましたが、結果は現在の通りで交通文化等を考えるとこれでよかったです。分村した西地区も大きく発展しています。私たちの方も、県都より鷹巣町の玄関口と位置付けられ、スキー場あり、道の駅あり、そして今また空港へのアクセス道路の玄関として着々と仕事が進められています。今後は県北の中心地鷹巣町の発展は大いに期待され、町民であることを誇りに思うこの頃です。

街道町  
寺田

武雄さん  
(七十七歳)



坊沢の農地の一部は、米代川を挟み二分されておりました。緑ヶ丘側の農作業については渡し船を利用しておりました。また、収穫物(大豆、小豆)は人が背負い、船で渡ったり馬車で鷹巣町を通り運んだものでした。昭和四十三年に坊沢大橋が完成すると、天気に左右されず迂回することもなくいつでも往来できるようになりました。当時の関係者は大変喜んだものです。これも当時の坊沢出身議員、及び町行政の努力の賜物と感謝申し上げます。今後も、生活環境の整備と地域の振興に努力されますようお願いいたします。

前山  
戸澤

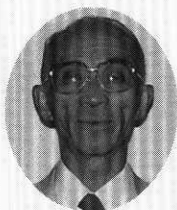
貞雄さん  
(七十九歳)



七座村は薬師山を境に東西に分かれることになり、村民等しく複雑な心境であった。これも文化の進展により舟運から車時代への移行によるもので、西部部落は完全に二ツ井町の生活圏に入っており致し方なかったと思う。ただし、きみまち阪、天神神社、七座山、麻生の古代遺跡そして当時の七座営林署が、我が手前から抜けて行ったことは何とも淋しい事であった。しかし、今彼の地を訪れる度に観光施設も充実し、驚きと羨望を覚えると共に隆盛を願うものである。

新屋敷町  
戸嶋

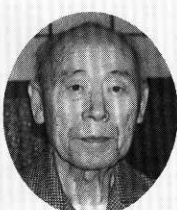
廣志さん  
(六十五歳)



合併当時は、協同組合に居候していた坊沢村農業共済組合に勤務していた。隣に役場があったので、職務上の関係もあったが益の交流も盛んでした。徒歩で出勤し薪ストーブを囲んで紙縊(こより)造り、その慣れた指で算盤へ。執務の終わった後の宿直は十日に一回、日直は二ヶ月に一回程あったが手当があるので助かった。一番心配なことは、理事会の資料作りよりも、懇親会の鶏とドブクロを上手に料理すること。これが一人前の職員となるかどうかの決め手。衣食住は粗末であったが、若さと戦争中の耐乏生活が活きて、日々楽しい毎日であった。

住吉町  
長谷川

眞一郎さん  
(九十歳)



合併のときの計画であった役場の移転新築、消防施設や小中学校の統合整備、体育館新築、鷹角線開通など順調に実現した。そして、当時考えてもみなかった空港も現実のものになった。この点では「飛躍的な発展」とも言える。しかし、人口がどんどん減るのが気になる。もうひとつ、合併は時代の流れではあったが、七座地区が分村せず一緒になることが不可能だったのかと思うことがある。

太田  
長谷川

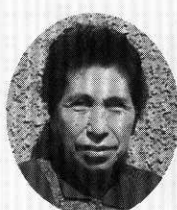
誠三さん  
(七十六歳)



昭和三十年、新生鷹巣町誕生と共に公僕として決意を新たにすることが思い出される。職員組合を結成し、職員給与の調整などに努め、その後の基礎づくりには大いに貢献したと信じている。三十二年竜森地区に分町問題が起こり、ある日最終列車で今晩明利又に立つ様伝え渡される。当時私は明利又は全く未踏の地、峠を超える頃には一面に闇、微かな雪の光に遂に目的地の人家の灯を見た時ホッとした事が今でも思い出される。上舟木、三の渡を根拠に一ヶ月以上に亘る長期逗留(とうりゅう)となる。思い出は尽きない。

脇神  
花田

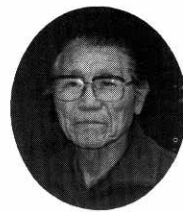
トメさん  
(六十九歳)



合併して早四十年、当時は今のようにも車もなく農家も牛馬を頼って田畑を耕しての仕事でした。私も農家に生まれ、長男に嫁いで五十年が過ぎようとしております。私は、四人の子供を育てながら農作業が毎日の仕事でしたし、子供達も手伝うのが当たり前でした。食べる物も豊かになり、こんなに便利な世の中になったのに、人口はなぜ減るのでしょうか。どうか二十一世紀に向かい、鷹巣町が発展するためにも、一人でも人口が多くなりますよう願っています。

合併当時の思い出

太田  
藤嶋幸雄さん  
(八十歳)



多分、他の人達もこの思い出を取り上げると思いますが、私の合併当時の思い出としては、第一に旧七日市村舟木、明利又地区の米内沢町への編入問題です。同地区の人達は地理的にも米内沢町に合併すれば何かと条件もよいと考え、大多数が賛成であったようです。そこで、鷹巣町では大変とばかりに各関係者達が連日連夜、土産物を車に積んで各部落を回り説得して、ようやく鷹巣町に合併を約束させたと聞いています。もし、あの時不成功に終わったならば、広大な国有林も営林署もなく、今思えば皆んなよく頑張ったと思います。

黒沢  
藤田久治さん  
(七十二歳)



年代不明の樹が茂り、昼でも暗い所から黒沢と名付けられたと聞く。町村合併当時は、馬車で物を運び、足で歩くことで用を足した日々であった。朝に出かけると、帰りは暗くなってから月に照らされて家路を急いだ。今思えばよく歩いたものだと思う。今は、車で用を足せる時代となり、空港ができれば東京へは日帰りができるようになるとの事、とても戦地に行ってきた私には夢のようである。合併四十周年を機にさらなる鷹巣町の発展を望むものである。

材木町  
細田キヨさん  
(六十九歳)



昭和三十年当時、町内に風呂屋は五軒ありましたが、我が屋(松の湯)もそのうちの軒でした。その頃は製材業が盛んだったので、今は見ることもない荷車で、木材の雑片や鋸くずなどを、燃料として運んだものです。お風呂も子供が多く家族づれで大変にぎわったものです。遠くに就職した子供さんたちが、正月やお盆に家族と一緒に笑顔でやってきた事が、今でも懐かしく思い出されます。鷹巣に空港ができたなら、若い人たちが住み続けられる町に、年をとっても楽しく暮らせる町になつてくれたらと願っております。

太田  
松尾精一さん  
(七十八歳)



昭和三十三年十一月三日、町立栄小学校が合併第一号の新築落成でした。当日、成田喜八町長は式辞の中で「旧栄村は米代川改修に伴う学校移転という難関に直面し、努力により識見と創意を以て事に当られた賜物で、深く敬意を表するものである。今や学校に適応する勉強を高める諸整備は、学校経営上是非とも必要な条件として新鷹巣町はこの温かい和のこもった贈りものを敬虔(けいけん)な心組みで受け継ぎたい」と述べられました。合併四十年を経過しても、このことが思い出されます。

松葉町  
松尾チヤさん  
(六十八歳)



大火から五年後の町村合併当時は、どこの家の生活も決して楽な時代ではありませんでした。合併四十年後の今、立派な公共施設が整備され、福祉にも手が回る様になり、三年後には、鷹巣から飛行機が飛べる様になります。夢の様な気持ちです。急激に移り変わっていくこの時代を、これからは、町民の心を一つにして、より住み良い町づくりに励む事を望みます。とくに、鷹巣の未来を託す若い人達には、期待するものがあります。揃った器に命を吹き込むのは、あなた達です。

掛泥  
村上忠吉さん  
(八十八歳)



私は現在八十八才、当時は村会議員であった。議員の数は十五、合併に賛成した議員は六、反対は九で不利な状況の下、合併は経済的な向上を図り、他町との交流を生む(七日市、沢口村との交流は無かった)等の理由で村民との対話により、各種集会を開くことなくすんなり合併できたと思っている。合併後は、町の経費節減のため膨れあがった議員の削減に綴子の議員は全議員賛成であったと記憶している。その後私は、合併により誕生した財産区の議長として千二百町歩の山林を各集落に分配することができ、喜んでいる。

合併当時の思い出

榎沢  
石川太永治さん  
(七十七歳)



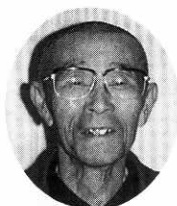
町村合併当時の思い出として残っているのは昭和三十一年糠沢分校新築、昭和三十一年糠沢駅竣工開業、それに合併後初の第七十九回秋田県種苗交換会が開催されたこととであります。当時は戦後十年を経て世情も幾らか明るさが見え始めた時代であったと思います。さて、町は今大館能代空港が平成十年十月開港に向け突貫工事で進行中であります。空港開港まで「あと三年」、この短い期間が鷹巣町の未来を左右する最も重要な時間であり、各分野の充実と振興を図り確かな未来のため万全を期さなければならぬと思います。住みよい豊かな、そして、活力と魅力あふれる鷹巣町を二十一世紀へ、子孫へと引き継いでいけるよう念じています。

七日市本郷  
岩本藤蔵さん  
(七十六歳)



私は、昭和二十二年からバス会社に勤務していたので、その立場で合併当時を振り返ると、狭い道でカーブやぬかるみも多く、冬の除雪もバス会社が自前でやっていたことが思い出されます。当時は車が普及しておらず、バスが唯一の交通機関であったため、鷹巣の市日や催し物、お祭りの時には、七日市の始発から満員で停留所を全て通過する有り様でした。お祭りの日には特別に午前三時まで運行した記憶もあります。また、昭和三十三年秋に葛黒までバスが開通したときは、大変な驚きでした。今時代は変わり、鷹巣に空港ができればよいと思いますが、広域的に人を呼び観光してもらうためには、もっとPRが必要なことと、大型バスが通行できる道路や橋を整備することだと思えます。

岩脇  
九嶋米蔵さん  
(八十六歳)



町村合併と聞いて仕舞ってあった七日市村から昭和三十一年十月に毎戸に配られた記念品、「九谷焼の湯呑み茶碗」を出して、しみじみと眺めてみた。記憶はあまり定かでないが、当時の七日市村は竜森地区の議員の勢力が強く、米内沢町との合併が有勢であった。しかし、七日市の出羽の人達は、反対運動を行って、鷹巣町への合併を強行した。役場二階の議場に大挙押し掛け、傍聴が制限されるなどの事態になり、分町問題になりかねなかったことが思い出される。あれから四十年経った今、道路事情をはじめ現在の状況から、誰しもが鷹巣町と合併して良かったと思っているに違いない。とにかく七日市が分町しなかったことが喜ばしいことである。

岩谷  
佐藤輝雄さん  
(七十二歳)



四十年前のことであり、だいぶ記憶も定かでないが、とにかく綴子村の合併問題は難航した。時の議会の大勢は、合併に消極的であり、村民世論もまた反対が強かった。鷹巣町一次合併後の翌昭和三十一年に、ようやく完了した合併審議会は、甲論乙論よく、若輩の一委員にすぎない私には、到底合併は難しいのではないかとさえ感じた時もあった。そうした中で、合併指導のため審議会に同席した県職員が、補助金、交付税等、町村財政の問題に言及しながら合併の必要性を強調されたことが、特に記憶に残っている。反対の強かった村議会が、ある日突然といった感じで、合併賛成を表明し、昭和三十一年十月一日を期して鷹巣町と合併することになったのは、そのわずか一ヶ月位前のことで、当時村民の中には、啞然とした人も少なくなかったようであった。もしもあの時合併しなかったら綴子の現在はどうのようになっていたか知るよしもないが、あれから四十年、社会情勢の大きな変化を考える時、やはり合併の意義は誠に大きいものがあつたことを深く感じているところである。

七日市本郷  
長岐千代さん  
(七十歳)



町村合併から四十年、一口で言えば早いものですがその道のりは決して平坦なものではなかったと思います。当時私は郵便局に勤務し、隣は駐在所、役場と並んでいましたが、米内沢との合併反対運動等で役場の二階が落ちる程議会の傍聴者が多く、当時の紛争が脳裏に浮かんできます。戦後、衣食住の貧しい時代から経済成長の波に乗り、合併後わが町がこんなに急激に発展するとは誰しも思わなかったことですし、当時を考えると感無量です。郵便葉書は五円、切手拾円の時代から通信網は交通の発達で空の時代となり、この町に空港ができるのは想像もつかぬことで本当に驚くばかりです。今日の鷹巣町があるのも偉大な先輩達のおかげと感謝申し上げます。将来にわたり益々わが町が発展しますようお願い申し上げます。

100人が綴る

# カルチャー&スポーツ

## ミニガイド



### フアルコン

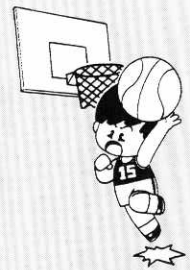
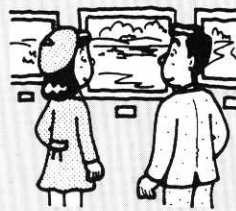
11・2 (木)	第27回鷹巣町文化祭「小・中学校の部」		
～5日 (日)	・邦雅祭・音楽祭ほか	入場/無料	
	※詳しくはP23、広報10/25号をご覧ください。		
11・6 (月)	(鷹巣町文化祭協賛) 軽音楽バンドストーンレークス発表会	入場/無料	19:00～21:00
	※11月7日(火)から変更となりましたので、ご注意ください。		
11・7 (火)	(鷹巣町文化祭協賛) 高井有一文化講演会	入場/無料	14:00～15:00
	※詳しくは広報10/15号をご覧ください。		
11・10 (金)	戦後50周年平和祈念町民のつどい	入場/無料	13:30～15:00
11・11 (土)	優良映画会「フランクリン物語」	大人/800円	10:20～11:40
11・12 (日)	鷹巣町子供会育成連絡協議会結成30周年記念式典	入場/関係者	14:00～16:00
11・17 (金)	鷹巣町社会福祉研修大会	入場/関係者	13:30～16:00
11・18 (土)	鷹巣町商工会青年部創立30周年 記念式典及び講演会	入場/招待券必要	13:00～18:00
11・19 (日)	高嶺流舞踊発表	入場/前売1,000円 当日1,500円	11:00～17:00
11・22 (水)	第4回ふるさと産業を学ぶ会	入場/関係者	12:45～15:00
11・23 (木)	鷹巣祇園太鼓審査会	入場/無料	13:00～19:00
11・24 (金)	秋田県吹奏楽研究協議会	入場/無料	9:00～17:00
11・26 (日)	(たかのす風土館主催事業) 映画鑑賞会2本立「耳をすませば・花より男子」	入場/前売大人1,000円・小人800円、当日大人1,200円・小人1,000円	9:00～17:00
11・27 (月)	七音会ピアノ練習会	入場/無料	13:30～17:00
11・30 (木)	年金受給者講習会	入場/関係者	9:30～15:30

※詳しいことは、フアルコン (☎62-3311) まで

### 中央公民館

[11月ロビー展] 上関恵治写真展

11・2 (木)	～5 (日)	第27回鷹巣町文化祭学習展示ほか
11・8 (水)		鷹巣町老人福祉大会
11・18 (土)	～20 (月)	鷹巣絵画クラブ展



### スポーツ

11・3日 (金)	第12回鷹巣町産業祭	鷹巣体育館
～5日 (日)		
11・9日 (木)	県北高校新人バドミントン大会	〃
～11日 (土)		
11・19日 (日)	第23回鷹巣阿仁部家庭婦人 バレーボール大会	〃
11・23日 (木)	県北高校新人バスケットボール大会	〃
～25日 (日)		
11・26日 (日)	町民卓球大会	〃

### 人口と世帯数 9月30日現在

住民基本台帳による

総人口	23,201人 (12人増)
男	11,146人 (12人増)
女	12,055人 (±0人増)
出生	11人 転入 45人
死亡	16人 転出 28人
世帯数	7,451世帯 (4世帯増)



# 町長日誌

10/1~15

1日(日)大館能代空港の自由開放見学会オープニングテープカットに出席、約5千人の見学者で終日にぎわいをみせた。

2日(月)赤い羽根共同募金運動の街頭募金活動に参加、道ゆく人たちに善意の呼びかけをした。

3日(火)秋田県農業農村対策大綱に関する知事と市町村長との意見交換会に出席。

3日(火)財団法人キリン福祉財団からの町社会福祉協議会への福祉車両贈呈式に出席、「町が目指す在宅福祉は、より自宅に近い形でお世話すること。そのためには移送用の車両が欠かせない」とお礼のあいさつをした。

6日(金)家庭婦人バレーボール『鷹巣愛好会』の東北バレーボール大会優勝祝賀会に出席。

8日(日)大阪21世紀協会主催の『95御堂筋パレード』に秋田県代表として綴子上、下両町の太太鼓並びにバチ手40名とともに参加、御堂筋の沿道に太太鼓の雷鳴をとどろかせた。

9日(月)日本経済新聞社主催の『医療と福祉の日本型介護を考える座談会』に出演、東京大学の太森教授など4名の方々と地方自治体の今後の医療・福祉のあり方について語り合った。

10日(火)町村合併40周年記念『第33回町民体育祭&バーベキュー交流会』に出席、3,000人の町民の皆さんと終日楽しく過ごした。

12日(木)『佐々木知事と鷹巣町との懇談会』に出席、知事から県営工業団地設置に関して『私は賛成です』という考えを出していただいた。

13日(金)町村合併40周年記念『文芸春秋講演会』開会式に出席。

15日(日)町村合併40周年記念式典並びに祝賀会に出席、「町民参加のもと、21世紀を展望した空港・福祉=新時代に向け全力をあげて取り組む」と式辞を述べた。

# 11月5日(日)から11日(土)は「秋の火災予防運動」です

—災害に 備えて日頃の 火の用心—

期間中、午前7時と午後9時に防火サイレンを鳴らすほか、防災指導などを行う予定ですのでご協力をお願いいたします。



鷹巣阿仁広域消防署  
鷹巣町消防団

## 平成7年度

### 大館・北秋地区青年アクティブセミナーの案内

～挑戦してみませんか！もう一人のあなたへ～

- 対象 大館・北秋地区に在住の青年 100名
- 参加料 無料
- 場所 鷹巣阿仁広域交流センター
- 主催 秋田県教育委員会

#### 日時・内容

月日	時間	内 容	講師・コーディネーター等
11/21 (火)	19:00～ 21:00	どうなる!これからの働き方、そして生き方 -高齢化社会の中の私たち-	能代市社協在宅福祉相談員 「阿部三恵子」
12/12 (火)	19:00～ 21:00	人生いろいろ -男と女のライフプランニング-	著述業・結婚問題コンサルタント 「藤井雄悦」
1/18 (木)	19:00～ 21:00	国際化ってなんだろう? -地球人としての私たち-	ミネソタ州立大学秋田校長補佐 「湯之日博英」他
2/20 (火)	19:00～ 21:00	わがまちからの発信 -企画マン、おおいに語る-	県立農業短期大学助教授 「青木辰司」他
3/9 (土)	14:00～ 17:00	悠・遊ふれあい交流パーティPart II -トーク、交流ゲームなど-	マルチ司会「マルさん」 バンド「ハローグッドバイ」

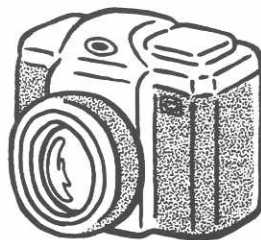
#### 申し込み先

- ・鷹巣町教育委員会生涯学習課 (☎62-1111)
- ・秋田県教育庁生涯学習振興課 (☎0188-60-3185)



# 第33回 町民体育祭・町民バーベ キュー交流会

10月10日(はれ)



# カメラ スケッチ



青空に  
歓声がこだまして...



第三十三回を迎えた町民体育祭と町村合併四十周年を記念した町民バーベキュー交流会が、十月十日鷹巣陸上競技場と鷹中球場を会場に行われました。

青空がのぞく好天に恵まれた体育祭には、過去最高の約三千人が参加し、遊競技やリレー、駅伝にさわやかな汗を流していました。

午後からは、隣りの鷹中球場に会場を移して町民バーベキュー交流会。「たかのす牛」の焼き肉をほおぼり、グラスを傾けながら各地区代表の歌自慢によるカラオケ大会など、夕暮れまでにぎわっていました。

### 〔総合成績〕

- 一部 ▽一位 ▽沢口下部 ▽二位 ▽太高 ▽三位 ▽田中
- 二部 ▽一位 ▽坊沢東 ▽二位 ▽摩当 ▽三位 ▽小猿部
- 三部 ▽一位 ▽沢口中部 ▽二位 ▽坊沢西 ▽三位 ▽松葉・住吉

### 〔町民駅伝の部〕

- ▽一位 ▽坊沢東 ▽二位 ▽大太鼓 ▽三位 ▽坊沢西

### 〔綱引きの部優勝チーム〕

- ▽一部 ▽今泉
- ▽二部 ▽七日市
- ▽三部 ▽坊沢西

# 町村合併40周年記念 町民バーベキュー交流会



「今日は、大いに食べて、飲んで合併40周年を祝ってください」と町長のあいさつ

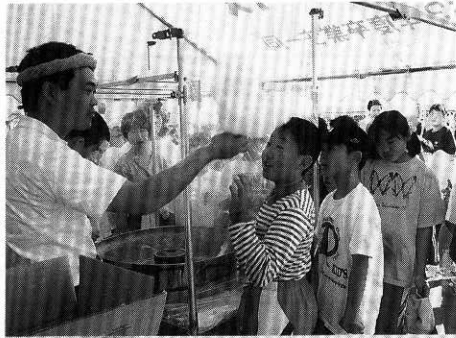
▼カラオケのトップバッターは  
佐藤金一さん夫妻(摩当)のデュエット



▶ “さあ、焼肉も  
焼きそばもおい  
しいよ!!”



“わたアメ・輪投げ・金魚すくい”  
こどもたちに大人気!!



◀ 「かもしかチーム」は、  
ここに集合ですよ

▼手拍子も出て、楽しそう…

▼ “勝利の美酒で乾杯!!” 総合優勝の  
沢口中部チームのみなさん



「たかのす牛」も  
「ビール」も「お酒」も  
おいしかった!



▶ みんな楽しく  
やっているところを  
一枚!パチリ!!



町民の皆さんに町の財政事情を知っていただくために、毎年2回一般会計、特別会計の執行状況が公表されています。

11月1日に平成7年度上半期（平成7年4月1日～9月30日）の結果が公表されました。

町の財政事情をちょっとのぞいてみましょう。

平成7年度の町の台所をお知らせします

# 財政白書

平成7年度上半期

## 一般会計執行状況

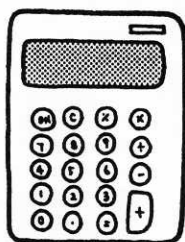
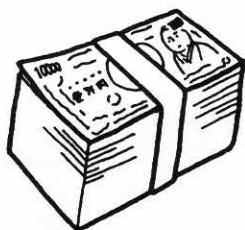
(単位：千円)

### 歳入

予 算 93億3,495万2千円

収入済額 48億3,541万9千円

収入割合 51.8%



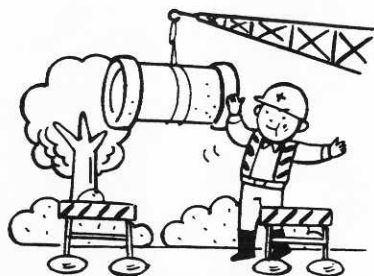
項 目	予算現額	収入済額	収入率(%)
地方交付税	3,616,932	2,695,035	74.5
町 税	1,791,831	1,048,048	58.5
県 支 出 金	901,225	123,801	13.7
町 債	754,800	5,100	0.7
国庫支出金	592,754	125,203	21.1
諸 収 入	457,147	166,215	36.4
繰 越 金	432,279	432,279	100.0
地方譲与税	199,000	57,864	29.1
繰 入 金	157,310	0	0.0
その他(分担金等、 使用料、手数料ほか)	431,674	181,874	42.1

### 歳出

予 算 93億3,495万2千円

支出済額 35億9,816万7千円

支出割合 38.5%



項 目	予算現額	支出済額	支出率(%)
民 生 費	1,781,503	766,396	43.0
総 務 費	1,740,841	501,430	28.8
教 育 費	1,237,563	621,811	50.2
農林水産業費	961,057	274,498	28.6
公 債 費	845,286	378,725	44.8
土 木 費	828,962	235,231	28.4
衛 生 費	629,087	283,712	45.1
消 防 費	339,662	123,976	36.5
商 工 費	335,713	234,815	69.9
その他(災害復旧、 議会、労働費等)	635,278	177,573	28.0

用語の解説

- ① 一般会計と特別会計…地方公共団体の会計は、本来単一の会計によって整理されるのが理想とされていますが、実際の行政活動は広範多岐にわたっているのが現状です。そこで地方公共団体の基本的な経費を「一般会計」、特定の事業を行う場合の経費を「特別会計」として区分しています。
- ② 主な歳入項目…「地方交付税」＝歳入の中で最も大きな財源であり、国が使いみちを指定しないで交付するもの。「国庫支出金」＝国が使いみちを指定して交付するもの。「町債」＝町の借り入れ金など。「諸収入」＝各種貸付金や預託金収入。「地方譲与税」＝消費税、自動車重量税などから市町村へ交付されるもの。

(単位：千円)

特別会計執行状況

会計区分	予算現額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
国民健康保険	1,664,948	698,962	42.0	598,648	36.0
老人保健	2,440,336	1,037,501	42.5	992,886	40.7
老人訪問看護	14,767	8,611	58.3	6,523	44.2
簡易水道	373,521	275,688	73.8	65,159	17.4
土地取得	3,588	0	0	0	0
と畜場事業	34,858	16,218	46.5	15,547	44.6
下水道事業	544,052	46,387	8.5	48,997	9.0
学校給食	231,375	101,786	44.0	97,007	41.9
財産区 (坊沢・綴子・栄・七日市)	8,547	156,974	1,836.6	631	7.4
合計	5,315,992	2,342,127	44.1	1,825,398	34.3

町民の負担状況(9月末現年度)  
調定額から

直接税	町民税個人分	671,031千円	町民1人当たり (円/人)	
	町民税法人分	117,023	73,212円	
	純固定資産税	884,664	1世帯当たり (円/世帯)	
	軽自動車税	25,867	227,967円	
	合計	1,698,585		

間接税	町たばこ税	53,990	2,327円	7,246円
-----	-------	--------	--------	--------

(9月末人口23,201人、世帯数7,451世帯)

国民健康保険税	659,686	81,806円	180,439円
---------	---------	---------	----------

(9月末加入被保険者数8,064人、加入世帯数3,656世帯)



# 鷹巣町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

## が改正されました ①

平成7年9月議会で「鷹巣町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」（昭和47年公布）が、全部改正になりました。これは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の一部改正や、「再生資源の利用の促進に関する法律」等の公布に基づいて、廃棄物の発生の抑制、再生利用の促進及び廃棄物の適正な処理等に関して必要な事項を定めたものです。

### 条例改正のポイント

(1) ごみの排出を抑制し、その再生利用を推進すること等によりごみの減量化を積極的に図っていくための方策を規定したこと。

また、ごみを家庭廃棄物（家庭ごみ）と事業系一般廃棄物（事業ごみ）に区分して、事業ごみに対して処理方法を明確にすることと、それに対して町の権限を強化したこと。

① 町、住民、事業者に対して減量義務を課すこと。

② 過剰包装を抑制すること。

③ ごみを多量に排出する大規模建築物占有者に対して、減量と再生利用を推進すること。

④ 事業者に対して、ごみの保管場所を設置させること。

⑤ 町に収集及び受け入れ拒否の権限をおくこと。

(2) ごみの適正処理に対し、町、事業者、住民等がそれぞれの役割に応じて取り組むための責務を明確にしたこと（町内単位での責任を持ったごみだし等による集積所の管理の徹底、分別の徹底など）

① 町はあらゆる施策を通じてごみの減量化を推進すること。

② 事業者及び住民は町の施策に協力すること。

(3) 適正処理困難物の増大が町における処理を困難にしつつあることから、製造側等事業者に対し、抑制のための取り組みを求めたこと。

① 事業者は、製品、容器等の処理困難性を自ら評価することと、容易な製品等の開発を行うこと。

② 製造等事業者は、適正処理困難物を下取り等により回収すること。

(4) 昭和五十四年以来基本的には据え置かれていた町営ごみ埋立土地利用の際のごみ処理手数料の改正。

① 十一区分に分けていた搬入車両の積載区分と、手数料金を五区分とすること。

② 県内同規模市町村の埋立地料金との、バランスを図った処理手数料の見直しをすること。

③ これまで料金徴収している事業ごみの手数料を、一般家庭の利用の際にも負担いただくこと。

### 〔平成8年1月以降の一般廃棄物 処理手数料（埋立地利用料金）〕

積載区分	金額
1 t 未満	500円
1 t 以上～2 t 未満	1,000円
2 t 以上～4 t 未満	2,000円
4 t 以上～6 t 未満	4,000円
6 t 以上	6,000円

※十一月より二月まで町営ごみ埋立地の営業時間が冬季時間に変更になり、

**午前八時三十分～午後四時まで**

となりますので、搬入の際は午後三時三十分までにご入場ください。

※平成八年一月より町営ごみ埋立地の閉鎖日が、

**毎週金曜日**になります。ご不便をおかけしますが

よろしくご協力お願いします。

お問い合わせは、役場住民生活課環境生活係

（☎六二一一一一内線二二八・一二九）へ

◆読書体験文 特選

わたしが感動した本

鷹巣小学校五年

成田 育恵さん



野口英世の本を読んだのは、これで三回目です。一回目は、二年生のとき担任の先生が読み聞かせをしてくれました。そのとき、野口英世はとてもしっかりと研究をしてえらくなっただなあと思いましたが、それで、ぜひ続きを読みたくなって春休みにまた最初から最後まで読んでみました。二回目は、三年生の秋ころになって、また読んでみたくなって読みました。

四年生の夏休みに、家族でどこかへ旅行へいくことになりました。お母さんが、「福島に野口英世の生まれたおうちがあるから、行ってみようか」と言ったので、わたしはすぐさんせいしました。わたしはもう二回も読んでいたので、英世が小さいころ落ちたいろりのことがすぐ頭にうかんできて、早く行って見たくなりました。それから、英世の生まれた家がどういう家だったかも知りたいくなりました。

英世の落ちたいろりは思っていたよりも深かったです。大けがをしてかわいそうだなあと思いました。それから、おざしきの柱には、英世が東京へ勉強しに出発するとき書いた、『心ざしをえざれば、ふたたびこの地をふまず。』という字がきざまれていました。わたしはよく意味がわからな

かったので、お母さんに聞いてみたら、自分の思ったことができないと、ここにはもどってこないということだと教えてくれました。わたしは、そのときはかわいことを書いているなあと思っただけ、あとからまた本を読んだときは、そういう決心をして強い心の人だなあと思いました。

英世の家は広い家で、昔の英世や英世のお母さんがそこにすわっているような気持ちになつてきました。

旅行から帰ってきてから、英世の本をまた読んでみたくなりました。何度読んでも、いろりに落ちて手が松のこぶのようになってしまったところがかわいそうです。小学生になってからは、「てんぼう、てんぼう。」と友達にはやしたてられても、くじけないでいっしょうけんめい勉強をして本当にえらいと思います。英世のお母さんは、自分の不注意でけがをさせたので英世に「かんにんしておくれ。」とこっさりあやまっていました。わたしは、とてもおもいやりがあるなあと思しました。それに、びんぼうなので男仕事もやっています。ごいがんばりやです。

英世が大きくなってから、手の手術をして開けるようになりました。本に、手術の痛さよりも喜びの方が多かったと書いてあったのでよっぽどうれしかったんだと思います。英世はその後、自由な手で、りっぱな研究をしました。でも、黄熱病の研究をしていて、自分がその病気にかかって死んでしまったので、命がもつたいたないです。わたしにとってこの本は宝物のようです。またいつか、本を開いて読んでみたいと思います。

(今回をもって、このシリーズを終了させていただきます。)

たかのす風土館  
みちのく子供風土記館  
忘れ物・落し物はしていませんか

当館では催物があるたびに、忘れ物・落し物があります。住所等がわかる場合にはすぐに連絡をして取りに来ていただいておりますが、それ以外の場合は本人からの申し出を待つて確認しお渡ししている現状です。

つきましては心あたりのある方は今月中に当館に連絡し確認ください。それ以降は鷹巣警察署に引き渡しいたしますのでご了承願います。

現在保管中の物件

- ・帽子…7点・ハンカチ…3点・小物入れ…3点
- ・手さげ袋…1点・車のカギ…4点・自転車のカギ…5点・腕時計…(男性用2点、ミッキーマウスの女性用1点、子供用1点)
- ・サイフ…9点
- ・弁当箱…1点・カサ…32点
- ・座布団…4点
- ・ピアノ入門書…1点
- ・テレホンカード…1点



「お問い合わせ先」 たかのす風土館 (☎六二一三三一一)



サザンカ

# 健康広場



福祉保健課からのお知らせ

## 新米パパ＆ママ子育て教室

### ■対象

初めて出産を迎えられるご夫婦

### ■日時

十一月十一日(土)・午後一時三十分～三時五十分

### ■場所

森吉町構造改善センター(森吉町役場となり)

### ■内容

①講話 「子育ての楽しさと父親の役割について」

講師 鷹巣保育園長兼鷹巣教会幼稚園長・岡村宣先生

②ビデオ上映 「おとうさんへ」赤ちゃんからのメッセージⅡ

③体験コーナー 「沐浴・おむつ交換・衣類の着脱」

講師 公立米内沢総合病院助産婦

④座談会 お茶とお菓子を準備しております。

※お申し込み・お問い合わせは、鷹巣保健所健康増進担当(☎六二一―一六五)まで。

## ＝健康を贈る優しい心 献血＝ 献血にご協力お願いします (11月の献血車巡回日程)

### ●成分献血

月/日	時間	場所
11/1(水)	10:00～16:30	鷹巣町役場前

※希望者はあらかじめ保健係(内線132)へお申し込みください。

### ●全血(200ml・400ml献血)

月/日	時間	場所
11/16 (木)	10:00～11:50	吉野子どもの村
	12:00～13:00	秋田サンリッツ
	14:30～16:00	鷹巣警察署前

## 福祉メモ

27

### 「ボランティアをしませんか？」

待望の地域福祉センターが完成し、前々号でご案内したとおり、まずデイサービスが十一月一日より始まります。

サービスの種類は、(1)基本事業として・生活指導・日常動作訓練・養護・家族介護者教室・健康チェック・送迎

(2)通所事業として・入浴サービス・給食サービスとなっております。

ボランティアの申し込みは現在三十数名となっており、ワーキンググループではあと七十名程参加いただいて百名体制で社協のお手伝いをと考えております。

お手伝いの時間は十時頃から一時～二時頃まで、内容は入浴の見守り、入浴後のドライヤー掛け、爪切り、ボタ掛け、食事の介助などいろいろありますが、話し相手をするのが一番のサービスかもしれません。毎月およそ二十回を手分けして、月曜から金曜日までデイサービス事業を成功させながら土曜・日曜日のミニデイサービスに結びつけたいものです。

迎えるバスで到着するとまず問診、血圧測定など健康チェックをします。その後みんなで入浴、お昼の会食、午後はレクリエーション、リハビリを兼ねた軽スポーツ、創作活動などでくつろぎながら楽しんでいただきます。

高福祉社会形成には一人でも多くの町民の参加が望まれます。ボランティアのお申し込みは、社会福祉協議会(☎六三―二〇九)へどうぞ。

現在デイサービスを希望される、対象となる方は百五十名程おります。社会福祉協議会では生活指導員、看護婦、入浴介助員、給食調理員、運転手各一名と寮母二名の計七名のスタッフを配置しています。が、人出不足も予想されます。

鷹巣町福祉のまちづくりワーキンググループ(福祉行政サービス)



# 11月の健康ごよみ

■ 6日(月)・20日(月)

○母子健康手帳交付と第1回母親学級

場所-中央公民館保健相談室

受付時間-午後1時~1時10分(終了は3時)

内容-母親の心がまえ、妊娠中期の生活指導  
母乳栄養について/その他

持参-印鑑

■ 8日(水)

○3歳児健康診査

対象-平成4年9月~10月生まれのお子さん

場所-鷹巣保健所

受付時間-午後1時~1時20分

持参-母子健康手帳、アンケート用紙、歯ブラシ、バスタオル、尿を入れた容器

■ 8日(水)・22日(水)

○健康相談と健康教育

場所-中央公民館保健相談室

時間-午前10時~12時/午後1時~3時

内容-健康相談、血圧測定、ビデオ上映  
「腎臓病を予防する日常生活」

■ 10日(金)

○両親学級

場所-中央公民館2F和室

時間-午前9時30分~午後1時30分

内容-母子健康手帳、主食、エプロン

※受講される方は前日までに、保健係(内線133)へ電話でお申し込みください。

■ 14日(火)

○2歳児歯科健康診査

対象-平成5年8月~9月生まれのお子さん

場所-中央公民館ホール

受付時間-午後1時~1時15分

持参-母子健康手帳、問診票、歯ブラシ、バスタオル

■ 27日(月)

○健康大学(5回目)

場所-中央公民館ホール

時間-午後1時~3時30分

内容-健康劇、受講者による体験発表、講話、閉講式

※17日(金)から27日(月)に変更になりましたので、ご注意ください。

■ 28日(火)

○4カ月児健康診査

対象-平成7年7月生まれのお子さん

場所-中央公民館ホール

受付時間-午後1時~1時15分

持参-母子健康手帳、バスタオル

○7カ月児健康相談

対象-平成7年4月生まれのお子さん

場所-中央公民館ホール

受付時間-午前9時30分~9時45分

持参-母子健康手帳、バスタオル



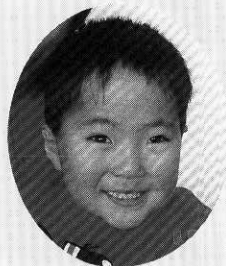
9月6日に行われた3歳児健診で、虫歯のなかったお子さんを紹介します。



大町 いがらし しほちゃん



舟場 きたじま けいちゃん



小森 さとう こうきちゃん



前野団地 そうま なつみちゃん

## 夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分~9時)

○応急の診療を要する患者。  
○往診はしておりません。  
○仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

11月曜日	曜日	医療機関名	電話番号
1日	水	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
2日	木	津谷内科	62-2261
3日	金	北秋中央病院	62-1455
4日	土	たむら内科クリニック	63-2700
5日	日	奈良医院	62-1146
6日	月	鷹巣病院	62-0210
7日	火	藤原医院	62-2882
8日	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
9日	木	盛岡外科医院	62-1101
10日	金	北秋中央病院	62-1455
11日	土	佐々木産婦人科医院	63-0105
12日	日	としま医院	62-1267
13日	月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
14日	火	近藤医院	62-1155
15日	水	北秋中央病院	62-1455

## 在宅福祉サービスの支援に期待

### — 鷹巣町地域福祉センター修祓式 —

「鷹巣町地域福祉センター」が完成したことは前号でも紹介しましたが、先月十六日、その完成を祝う修祓式が関係者約四十人の出席のもと、同センターで行われました。

竜森コミュニティセンターに続き、福祉のまちづくりサテライト構想に基づく第二の施設としてオープンした同センターでは、今月からデイサービスが始められ在宅福祉サービスの支援が行われます。

地域の皆さんに親しまれ、たくさん利用してもらえるような施設にしたいものです。

※見学希望者は福祉保健課高齢福祉係（☎六二一—一—一内線一三四・一三五）までご連絡ください。



## トップレベルのプレーを披露

### — 全日本女子バレーボール鷹巣大会 —

来年のアトラクタ五輪への出場権をかけたワールドカップ（W杯）に向け強化合宿中の全日本女子バレーチームが、先月二十二日、鷹巣体育館で公開練習、紅白試合を行い、世界のトップレベルの技術を披露しました。

これは町村合併四十周年を記念して町バレーボール協会（藤原高司会長）が誘致したもので、山内美加や大林素子など日本を代表する選手たちのプレーを見ようと約千二百人の観衆が詰めかけました。

熱戦となった紅白試合では多彩なプレーの数々に会場から大きな拍手が沸いていました。



## 知事と町民代表との懇談会開催

### — 直接県政への要望述べる —

先月十二日、広域交流センターを会場に佐々木喜久治知事と町内各界の代表との懇談会が開催されました。

町から出席したのは町長、議長をはじめ商工会、JA、農業委員会、まちづくり町民会議、福祉ワーキング、文化を進める会の代表など十五人で、県政への要望事項などを直接知事に述べました。

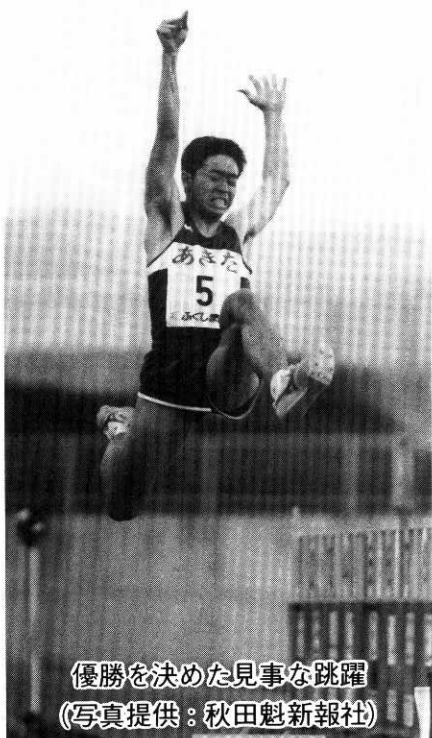
空港建設に関連して町が働きかけている「七日市臨空工業団地」については、「用地の価格が問題。場所はいい場所だと思う」また、福祉の大きなプロジェクトとして町が検討中の「ケアタウン構想」については、「計画を聞かせてもらい、できる限り応援したい」と知事は答えました。



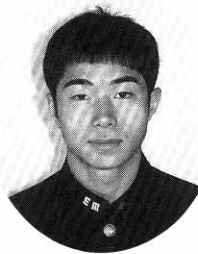
国体 少年男子共通  
走 幅跳び

大会新記録(追風参考)で優勝

# 中嶋豊選手(鷹巣南中-能代工高)が快挙



優勝を決めた見事な跳躍  
(写真提供:秋田魁新報社)



「自分でも信じられない」と喜びを語る中嶋豊選手

福島県を会場に開催された第五十回国民体育大会秋季大会四日目の先月十七日、陸上競技少年男子共通走り幅跳びで中嶋豊選手(川口・鷹巣南中-能代工高三年)が、見事大会新記録(追風参考)で優勝を飾りました。

中嶋選手は、午前中に行われた予選で七メートル二十センチを跳び、予選二位の記録で午後からの決勝に進出。決勝ではさらに調子を上げ、四回目の跳躍でトップに立ちました。その後山田秀範選手(京都・花園高)が七メートル五六(大会新)を跳び逆転を許しましたが、五回目の跳躍で七メートル六十九センチの自己ベストは勿論のこと追風参考ながら国体の新記録を出し優勝を決めました。

中嶋選手は、中央小時代から走り幅跳びを始め、郡市大会で優勝、鷹巣南中時代にも県大会二位、全国大会出場と活躍しましたが、能代工高進学後は特に助走のスピードアップがめざましく、東北でもトップクラスの選手として順調に記録を伸ばしてきました。

そんな中、昨年秋季の県高校新人陸上大会で自己ベストの七メートル二十四センチをマークした後、十月の練習で踏み切り足の太ももを負傷するアクシデントに見舞われ、冬期間は跳躍練習が出来ない状態が続きました。ようやく練習を再開したのは今年の三月に入ってからで、完全復調出来ないまま出場したインターハイでは不本意な記録で予選落ちするという結果でした。

しかし、このケガが中嶋選手を精神的にも強くし、国体を控えた九月頃から序々に調子を上げ、技術的にも「踏み切りに入る三步前のピッチを早くして飛距離を伸ばした」と本人が語るように完全復調で大会に臨みました。

福島国体には中嶋明・リエさんの両親も応援に駆けつけ優勝に大喜び。中嶋選手は「国体では八位以内の入賞が目標でしたが、まさか優勝できるなんて信じられません」と喜びをかみしめ、「今後も進学して競技を続け、着実に自己ベストを更新していきたい」と語っていました。

「中嶋選手優勝おめでとう」  
オリンピックをめざしてがんばってください。

## 明石昭一郎さんに最優秀賞

— 第五回民謡長者の山全国大会 —

先月十四、十五日に千畑町で行われた第五回民謡長者の山全国大会で、河田かつ子民謡教室から出場した明石昭一郎さん(六十五歳・前野)が高齢者の部で最優秀賞を受賞しました。

この大会は「長者の山」一曲だけで自慢ののどを競い合うもので、一般の部、高齢者の部、ジュニアの部に分かれています。高齢者の部に初出場した明石さんは予選を二位で通過し本選でものびのびと歌った点などが高く評価され、見事最優秀賞に輝きました。

今回の受賞について明石さんは、「三度目の出場で最高の賞をもらえて本当にうれしいです」と喜びを語っていました。



# 暮しの情報

## INFORMATION



文化財保護強調週間  
(11月1日～7日)



### 老齡福祉年金 証書を発行

年三回(四月・八月・十二月) 支払いの老齡福祉年金の証書を次の日程で交付します。

▽期限

十一月六日(月)～十一月十日(金)

▽時間

午前九時～午後五時

▽場所

役場住民生活課年金係

▽持参する物

保管証・印鑑

### 年末調整説明会 16日に開催

今年も年末調整の時期が近づいてまいりました。大館税務署では、大館法人会と共催で源泉徴収義務者に対する年末調整説明会を左記の日程で

開催いたしますので、万障繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願いいたします。

▽日時

十一月十六日(木)

午前九時三十分～十二時・午後一時～三時三十分

▽場所

鷹巣阿仁広域交流センター

### 自己流印刷年賀状を 作ってみませんか

一九九六年の年賀状を自己流で作ってみませんか。

ひまわりの家では、年賀状

孔版(ガリ版)印刷の安東正教室を左記の日程で開催します。

▽日時

十一月十八日(土)・午前九時～午後四時

▽場所

ひまわりの家ボランティアルーム

▽講師

安東正氏

▽参加費

一人五〇〇円(材料代込み)

※参加を希望される方は、前もって連絡願います。

※お申し込みは、ひまわりの家事務所(☎七八一四〇二五)まで。

問い合わせは  
ハローワーク たかのす  
(大館公共職業安定所鷹巣出張所)  
TEL 0186-62-1240

## ハローワーク求人情報

【男子】

職種	年齢	基本給(万円)	資格免許	業務内容	就業所
フロント係	18歳～45歳	12.5	普通免許	フロント他	鷹巣町
工場管理 工業務管理	25歳～45歳	20～30	経験3年以上 有資格者優遇	工場製作指示 段取り管理等	鷹巣町
販売員	18歳～30歳	12.3～13.3	普通免許	給油を主体とする ガソリンスタンド業務	上小阿仁村
販売・配達	20歳～30歳	13.5	普通免許	販売・配達(ほとん どが町内)	鷹巣町
ホール係	18歳～40歳	22	不問 (交替制有)	ホールの内役	鷹巣町
長距離手 運	30歳～40歳	27	大型免許	10t車(ウイング) 鷹巣～能代～山形へ	鷹巣町
裁断	18歳～50歳	11.28～16	不問	裁断	森吉町
運転手 作	20歳～50歳	20～22.5	普通免許 大型免許	重機、トラックの運転 一般土木作業員	合川町
普通作業員	20歳～60歳	16.25～20	不問	土木作業員	森吉町
配管工 及	18歳～40歳	15～20	未経験者 でも可	新築の水道管整 備及び修理等	鷹巣町

【女子】

職種	年齢	基本給(万円)	資格免許	業務内容	就業所
経理事務 一	18歳～30歳	13	普通免許	経理事務一般、税 理士の補助業務	鷹巣町
販売員	18歳～45歳	12～13	経験者優遇	婦人洋品の店頭販 売と商品の管理等	鷹巣町
カウンター	18歳～40歳	13～16	不問 (交替制有)	パチンコ店内の係 カウンター係	鷹巣町
理容師 及び見習	20歳～40歳	15～25	理容師免許	理容師一般	鷹巣町
製造工	18歳～35歳	11.84～14.33	不問	通信機器の製造	森吉町
製材工	20歳～65歳	12.5～13	不問 できれば経験者	一般製材	森吉町
一般土木工	50歳以下	13.78～14.3	不問	一般建設作業	鷹巣町
受付係 *パート	25歳～40歳	時給 650～700円	不問	クリーニング品の 受付業務	鷹巣町
技能職 *パート	45歳以下	時給 645円	不問	自動車電話カール の未端加工作業	森吉町
調理及び販 売*パート	20歳以上	時給 600円	不問	そばとご飯物の調 理及び商品の販売	鷹巣町

## 〈お知らせ〉

北健康増進センターの休館日が  
11月1日より、毎週水曜日から  
日曜日に変更になりましたので  
ご協力お願いいたします。



119番の日  
(11月9日)

## 平成八年用お年玉 年賀はがき を発行

十一月一日より、郵政省では平成八年用「年賀はがき」を発行しています。

年賀はがきの寄付金は地球環境の保全や社会福祉等の助成のため使われています。

### ▽種類

○無地（目の不自由な方用もあります）五〇円

○絵入り年賀はがき ・ 蕪柑子、瑠璃鶏（全国版）五十五円 ・ 火振りかまくら（地方版）五十五円

※みほんは各郵便局においてありますので、お気軽にお立ち寄りください。

## 情報機器展 示会を開催

鷹巣町商工会では左記の日程で情報機器展示会を開催します。

入場は無料です。どなたでもお気軽にご来場ください。

### ▽日時

十一月九日（木）・ 午前十時

午後八時

十一月十日（金）・ 午前十時

午後四時

### ▽場所

鷹巣阿仁広域交流センター

### ▽展示商品

各メーカーのパソコン、ワープロ、コピー、通信機器

### ▽主催

鷹巣商工会

## 「秋田弁見本市」 参加者募集

自慢の秋田弁で他県にはない秋田弁の良さや特徴、同じ秋田県内でも他地域にはみられない「おらほ」の言葉の良さや特徴、味などをトーク、歌、寸劇などでアピールしてみませんか。

### ▽日時

十二月十日（土）午後二時

### ▽場所

アトリオン地下一階イベント広場

### ▽応募資格

アマ、プロ、年齢、国籍、個人、グループを問いません。

### ▽申し込み方法

往復ハガキに、住所、氏名（グループの場合はグループ名、代表者名、人員）、年齢職業、発表内容の概略、連絡先を明記のうえ、十一月七日（火）必着で左記に申し込む

## 「ネギ」を

## 栽培してみませんか

鷹巣町とJAでは、栽培が容易で価格が安定しているネギを重点戦略作物として栽培者を募っています。

ネギ栽培は植付けから皮むきまで機械化されています。また、作型分化も進み稲作作業と競合しない作型など経営的にも取入れやすい作物です。

栽培に当たって、県・町・JAなど関係機関が一体となって支援・指導します。ぜひ、これからの所得拡大のため栽培してみませんか。栽培を希望される方は、JA営農部までお申し込みください。

### 「お申し込み先」

鷹巣町農協営農部（☎六二二二三二五、FAX六三〇一六一）



## 11月は

## 保険税 5期 の納期です

～納期内に忘れずに納めましょう～

## 11月11日(土)～17日(金)は 「税を知る週間」

一税金の仕組みや使いみちについて考えてみませんか



# 慶弔だより

(10月1日～15日・敬称略)



誕生おめでとうございます

今田 千絵 (康幹 和子) 長女 大町  
 木村 周子 (清尚 隆子) 三女 宮前町  
 津谷 岬 (操ナ) 長男 街道町  
 畠山 努 (雅久彦) 二男 舟見町  
 三日田 貴彦 (武彦 美紀子) 三男 旭町  
 長岐 朋輝 (忠好) 二男 七日市本郷  
 宮腰 裕斗 (武広 広み) 長男 東横町  
 渡邊 翔也 (雅彦 雅み) 二男 前野  
 森岡 南海 (弘伸 美子) 長女 あげぼの町

鈴木 寛久 (久信 信子) 長男 宮前町  
 湊 彩歩 (明志 保子) 長女 新田中  
 畠山 華衣 (美登 志子) 二女 上野  
 亀山 樹莉 (美寿 紀子) 長女 田沢  
 小笠原 大介 (和清 成美) 長男 花園町  
 近藤 菜々 (綾江 里香) 二女 深関  
 武藤 沙耶香 (一郁 郎子) 二女 糠沢  
 佐藤 由李亜 (尚清 明子) 長女 堂ヶ岱



## 善意

こと。  
 ▼申し込み・問い合わせ先  
 〒〇一〇 秋田市中通二丁目  
 三番八号 アトリオン七階  
 秋田総合生活文化会館「開館  
 記念イベント」担当(☎〇一  
 八八一三六一七八〇二)



二人の前途を

祝福します

(三 澤 忠 博 田 中  
 津 谷 照 美 坊 沢 大 町  
 大 塚 忠 貴 伊 勢 町  
 齋 藤 さ お り 合 川 町  
 成 田 則 和 あ げ ぼ の 町  
 小 塚 ゆ か 子 材 木 町  
 鈴 木 鉄 也 前 野  
 千 葉 聡 美 横 瀨

おくやみ申し上げます

成田 俊男 (63歳) 舟見町  
 中嶋 キエ (83歳) 舟場  
 長崎キヨシ (74歳) 舟見町  
 畠山佐太郎 (71歳) 七日市大畑  
 倉光 太門 (86歳) 南鷹巣  
 亀山 米藏 (77歳) 花園町  
 笹原 虎吉 (79歳) 小森  
 菅原 晴雄 (71歳) 松葉町  
 秩父 ナホ (87歳) あげぼの町  
 小松 梅吉 (69歳) 伊勢町  
 三澤 サナ (89歳) 田中  
 出川 ツナ (67歳) 糠沢

## 香典返し

▼鷹巣町茶道連盟 日本礼道  
 小笠原煎茶 河田社中・表千  
 家 六戸社中・裏千家 児玉  
 社中より町民茶会の収益金の  
 一部として一万円

▼大堤 〓 畠山吉秋さんから亡  
 父吉次郎さんの香典返し  
 ▼松葉町 〓 長谷川照子さんか  
 ら亡父昌三さんの香典返し  
 ▼前野 〓 畠山正人さんから亡  
 父光雄さんの香典返し  
 ▼旭町 〓 九島征一さんから亡  
 義母キヨノさんの香典返し  
 ▼舟見町 〓 成田秀市さんから  
 亡父俊男さんの香典返し  
 ▼綴子上町 〓 山内繁序さんか  
 ら亡父富夫さんの香典返し

## 新用途地域は12月1日から 施行されます

鷹巣都市計画(新)用途地域は、平成7年12月1日告示、同日から施行となります。

「用途地域」は、建築物の用途や規模などの形態を制限しながら住みややすく快適な都市環境を創り保持していくことを目的として定められるものですが、今回の指定替えにより建築物の用途や規模などの制限が従前と異なる地域がありますので、これから建築確認申請書を提出される方や新築・増改築などの計画のある方はご留意ください。

なお、告示日から役場建設課において図書を縦覧いたします。

※用途地域についてのお問い合わせは、建設課住宅公園係

(☎62-1111 内線292) までおたずねください。

第27回  
鷹巣町文化祭  
第32回  
小・中学校の部

期 間：11月2日(木)～5日(日)  
テーマ：「花の輪 人の和 地域の和」

～広報10/15号でお知らせした内容に追加・変更がありましたので、お知らせします～

変 更

たかのす風土館会場

[ホール演示]

4日(土)	16:00～17:30	音楽祭
	17:30～18:00	バレエ発表・バレエサークル「フェアリー」
5日(土)	12:30～17:00	民謡まつり
	17:30～18:30	バレエ発表・戸松バレエ教室

文化財めぐり

・人物ゆかりの地を見る (西地区) 3日  
1回目 10:00～12:00 2回目 13:30～15:00  
マイクロバスで役場駐車場横から出発

広域交流センター会場

[ホール演示]

4日(土)	19:00～21:00	レクリエーションダンス、フォークダンスの夕べ
-------	-------------	------------------------

[ロビ-]

3日(金)	11:00～12:30	国際交流
	13:30～15:00	広場

追 加

みちのく子供風土記館会場

・みちのく子供風土記の会行事 2日～5日・9:00～18:00  
神成滯先生陶器展・染グループ「朱」による作品展示・渡辺洋子先生日本画展・榎本美智子先生版画展

協 賛 行 事 [中央公民館]

・読書会 (11月6日) ・短歌会 (11月10日) ・史談会 (11月11日)

お詫びと訂正

広報10/15号に掲載した内容について、以下のとおり誤りがありましたので、訂正のうえお詫びいたします。

(訂正前) (訂正後)

- ・たかのす風土館会場  
お茶席 表千家 三沢静子社中 → 三沢社中
- ・協賛行事  
鷹巣劇団第4回公演「おら達の100年戦争」(10月20日) → (10月21日)

空港に夢を乗せ みんなのまち・みんなの産業

鷹巣町  
第12回産業祭

- ◆とろろめし大会 …… 11月3日(金)
- ◆ミニSL (JR鷹巣駅協賛)

※広域交流センター、中央公民館、体育館の3カ所からバスが無料で運行されますのでご利用ください。

みんな  
おいでよ!楽しいよ!



期間 11月3日(金)・4日(土)・5日(日)  
祝 町村合併40周年記念  
場所 鷹巣体育館、鷹巣勤労者プール、鷹巣サブ体育館

↑

主催  
鷹巣町、鷹巣町商工会  
JA鷹巣町、鷹巣町森林組合

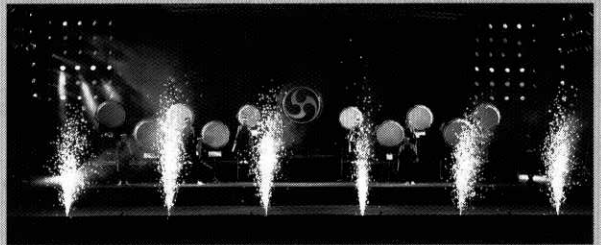
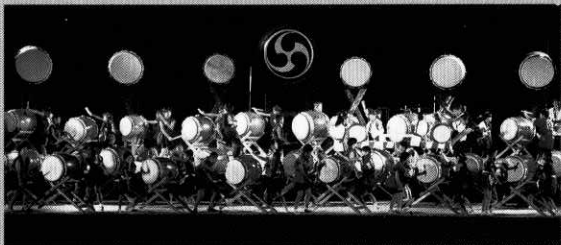
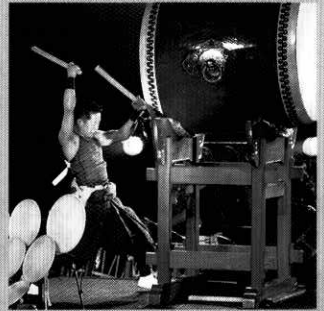
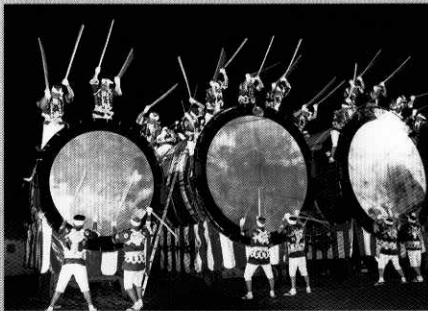
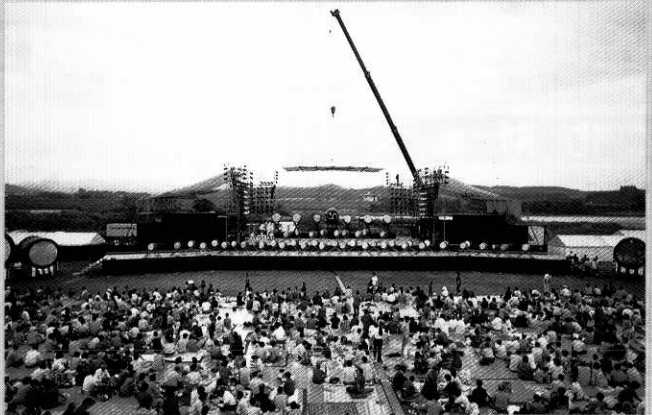
町村合併40周年記念事業から…



◀花火大会・ふるさと踊りと餅っこまつり



▼みちのく太鼓の里づくりフェスティバル「大響祭'95」



る  
立花  
隆氏



◀文藝春秋講演会

▼町民バーベキュー交流会



広報たかのす  
11月1日号 (No.803)

編集・発行

鷹巣町役場地域政策課広報広聴係  
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19号1号